

# 古文ドリル：「む」の用法識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「む」の正体（6用法）

古文の助動詞「む」は **1語で6つの意味** を持ちます。識別問題では「どの意味か」を答えるパターンが多い。

用法	訳	判別ポイント	例
① 推量	～だろう	3人称が主語	雨降ら <b>む</b>
② 意志	～よう・～たい	1人称が主語	我れ行か <b>む</b>
③ 勧誘	～したらどうか	2人称が主語	君行か <b>む</b> や
④ 適當	～のがよい	2人称+助言	早く帰ら <b>む</b>
⑤ 婉曲	～のような	体言の前	思は <b>む</b> こと
⑥ 仮定	もし～ならば	「～むには／～む人」など条件節	行か <b>む</b> には

### 識別の鉄則

1. **主語の人称** を見る
2. 1人称 → 意志
3. 2人称 → 勧誘 or 適當
4. 3人称 → 推量
5. **下接語・文脈** を見る
6. 体言の前 → 婉曲（「～のような～」）
7. 「～むには／～むほど／～むには」 → 仮定
8. 「～む」が文末で疑問 → 推量
9. 「～む」が文末で意志を述べる → 意志
10. **接続** は必ず **未然形**
11. 文末の「む」連体形（「ぞ・なむ・や・か」結び）でも意味は同じ

## 🎯 解き方のコツ (時短テクニック)

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。

こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

### コツ① まず「直後」を見ろ (婉曲・仮定を一発で切れる)

- ・ 「む」 + 体言 → 婉曲 (～のような) 即答 例: 思はむこと / あらむ人
- ・ 「む」 + に / には / ほど / ば → 仮定 (もし～なら) 例: 行かむには / 思はむほど

→ 直後が体言か接続助詞なら、人称を見るまでもなく確定。

### コツ② 直後が文末 / 引用なら 人称 で3分割

直後が句点・「と」(引用)・「や / か」など文末系なら、主語の人称で決める。 - 1人称 (我・吾・予・おのれ) → 意志 (～よう) - 2人称 (君・なんぢ・あなた) → 勧誘・適当 (～してはどう / ～のがよい) - 3人称・無生物 (人・雨・花) → 推量 (～だろう)

→ 主語省略が多いので、**動作主が誰か** を本文で探すのが鉄則。

### コツ③ 2人称の勧誘か適当かは語気で判断

- ・ 「や」「か」など疑問の終助詞付き → 勧誘 (～しないか)
- ・ 助言・推奨の文脈 → 適当 (～のがよい)

例: 君行かむや → 勧誘 / 早く帰らむ → 適当

### コツ④ 「死なむ / 往なむ」はナ変+む

「死なむ」「往なむ」だけは特殊。直前がナ変動詞「死ぬ / 往ぬ」の未然形「な」+「む」。助動詞「ぬ」未然+「む」とほぼ同じ意味 (～してしまうだろう)。

### 試験本番でのチェック順序

1. 直後が 体言 → 婉曲 (即答)
2. 直後が に / には / ほど / ば → 仮定
3. 主語が 1人称 → 意志
4. 主語が 2人称 → 勧誘 or 適当
5. 主語が 3人称・無生物 → 推量

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

### よくある引っかけ

- ・ 主語省略が多い → 動作主を文脈で補う (敬語の有無もヒント)
- ・ 「らむ」(現在推量) と混同 → 「ら」がなければ「む」で確定

- 「けむ」(過去推量)と混同 → 「け」がなければ「む」で確定
- 連体形「む」も意味は同じ(「ぞ・なむ・や・か」結びでも人称が決まる)

## 採点表

- 基礎 (Q1~Q20) : /20
- 標準 (Q21~Q50) : /30
- 応用 (Q51~Q80) : /30
- 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- 合計 : /100

## 【第1部】基礎編 (Q1~Q20)

6用法をそれぞれ識別する基本問題。

Q1. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

雨降らむ。

Q2. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ行かむ。

Q3. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行かむや。

Q4. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

思はむこと。

Q5. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむには、馬を用意すべし。

Q6. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

風吹かむ。

Q7. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ寝む。

Q8. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

早く帰らむ。

Q9. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春来む頃。

Q10. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行かむほどに、文書きてやらむ。

Q11. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

月出でむ。

Q12. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ知らむ。

Q13. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむ所。

Q14. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君や知らむ。

Q15. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ書かむと思ふ。

Q16. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

笛吹かむ人なし。

Q17. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむには、しるべ要らむ。

Q18. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

父帰らむ。

Q19. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ問はむ。

Q20. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君も食はむや。

基礎編 / 20

## 【第2部】 標準編 (Q21~Q50)

文脈・係り結び・引用構文を含む応用問題。

Q21. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

言はむことを、まづ聞け。

Q22. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ歌詠まむと決めぬ。

Q23. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春雨や降らむ。

Q24. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いざ参らむ。

Q25. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむ人、馬を用意せよ。

Q26. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

鳥鳴かむ山に、いざ行かむ。

Q27. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ知らむやと、人間ふ。

Q28. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

夕月夜出でむ頃、参るべし。

Q29. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

父知り給はむ。

Q30. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ寝（ね）む。

Q31. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行かむかは。

Q32. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れも往なむ。

Q33. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

月隠れむ夜。

Q34. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむほどに、待ちぬべし。

Q35. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ言はむことを聞け。

Q36. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行かむやと、皆問へり。

Q37. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

風吹かむ音、いと寂し。

Q38. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ住まむ所、いまだ定めず。

Q39. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春来**む**やと、人ごとに問ふ。

Q40. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行か**む**には、誰か供をすべき。

Q41. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ食は**む**。

Q42. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

雨止ま**む**。

Q43. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君も食は**む**かし。

Q44. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ書か**む**ものを、人に見せじ。

Q45. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いざ給へ、参ら**む**。

Q46. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

思はむほどの心地ぞする。

Q47. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

笛吹かむこと、難し。

Q48. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君や問はむ。

Q49. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ往なむと、思ひ立つ。

Q50. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

心知らむ人。

標準編 / 30

## 【第3部】 応用編 (Q51~Q80)

敬語・係り結び・引用が複雑に絡む応用問題。

Q51. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

中宮、御文書かむと仰せらる。

Q52. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ参らむ。されど、いまだ準備整はず。

Q53. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春や来む、と心に待つ。

Q54. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行かむやと、母心配す。

Q55. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いみじき宿世の人にあらむ。

Q56. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ仕うまつらむと申す。

Q57. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

笛の音絶えむ夜。

Q58. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

御覧ぜさせたまはむ。

Q59. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

嘆かむこと、目に見ゆ。

Q60. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

早く立ち去らむ。

Q61. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

知らむ人。

Q62. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

山深く分け入らむ。

Q63. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

物思ふ我れも、いま忘れなむ。

Q64. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

雨いやまさらむ。

Q65. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君もろともに参らむやは。

Q66. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

唐土に渡らむ人、希にあらむ。

Q67. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

老いむ身、いかでか若く保たむ。

Q68. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いま歸らむかし。

Q69. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

思はむこと言はむ。

Q70. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

心知らむ人にこそ、見すべけれ。

Q71. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れもまた仏に祈らむ。

Q72. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行かむ所、いづくぞ。

Q73. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

嘆かむやは。

Q74. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

鳥鳴かむ朝、目覚めなむ。

Q75. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむには、馬要らむ。

Q76. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君わが心知らむやは。

Q77. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

仏に祈らむ人。

Q78. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いざ参らむやは。

Q79. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

鳥や鳴かむ、と耳を澄ます。

Q80. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ寝なむ。

応用編 / 30

## 【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

Q81. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

唐土に渡らむ人、すくなからむ。

Q82. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

月見む人、いざ夜更けにあり給へ。

Q83. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ、なほ生かさむと思ふ。

Q84. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春の野に咲かむ花、いまだ知らず。

Q85. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いみじき宿世の人にしあらむ。

Q86. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

父の御志、いかでか忘れむ。

Q87. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

物のあはれを知らむ人にこそ。

Q88. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

風吹かむ夕、なほものあはれなる。

Q89. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君や生かむ、我れや死なむ。

Q90. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春の野に若菜摘みむ人、いまだ来ず。

Q91. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いざ参らむかし。

Q92. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ、いま死なむものを、と嘆く。

Q93. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ生かむやは、人皆生かして。

Q94. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

心知らむ人にこそ、語らはめ。

Q95. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

思はむ人。

Q96. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ笛吹かむ、と聞かす人ぞよき。

Q97. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

月清けき夜、いざ歌詠まむやは。

Q98. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春の山にいざ分け入らむ。

Q99. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

思はむこと、君に語らはむ。

## あとがき

「む」の用法識別の核心： - **主語の人称** が最重要（1=意志、2=勧誘・適当、3=推量） - **下接語** で婉曲・仮定を見抜く（体言の前=婉曲、～むには=仮定） - **係り結び** で連体形「む」が文末に来る場合あり（意味は同じ）

「む」「むず」「けむ」「らむ」は古文の推量系の代表選手。違いを整理： - む：未来推量「～だろう」 - むず：意志的・確定推量 - けむ：過去推量「～ただろう」 - らむ：現在推量「(今ごろ) ～ているだろう」

本ドリル100問で「む」のすべての用法に触れています。

---

**著作権**：個別指導塾フィット / 中本裕太